

記入例

(様式第1号)

平成25年10月23日

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
会長 関 正夫 様

申請者 団体名 千波子育てサロン
所在地(住所) 水戸市千波町1918
代表者氏名 水戸花子 (印)
連絡先電話 (029) 241-1133

はんどちゃんネットワーク運動サロン拡充支援事業助成金交付申請書

標記の助成金について下記のとおり交付されるよう、関係書類を添えて申請します。

記

1 助成金交付申請額 50,000 円

50,000円以内の額で
助成額は千円単位です。
千円未満の端数が生じた場合、
端数は切り捨てです。

2 添付資料

- ・事業実施計画書(別紙1-1)
- ・収支予算書(別紙1-2)

3 振込先

金融機関名	銀行 〇〇〇 信用金庫 △△△ 支店 農協 その他()
預金種別	普通 ・ 当座
口座番号	No. 1234567
(フリガナ) 口座名義人	センバコソダテサロン ダイヒョウ ミトハナコ 千波子育てサロン 代表 水戸花子

(別紙 1-1)

事業実施計画書

■サロンの概要

サロン名	千波子育てサロン			
サロン運営団体名称	千波地区の福祉を考える会			
設立年月日	平成 23 年 4 月 5 日			
代表者	住所	〒310-0851 水戸市千波町1918番地		
	氏名	水戸 花子	電話	029-241-1133
事務担当者 (代表者と同じ場合 記入不要)	住所	〒 -		
	氏名		電話	
書類の送付・電話連絡先 (どちらかに○)	☒ 代表者 ・ ☐ 事務担当者			
開催場所	茨城県総合福祉会館 小研修室			
開催日	☒ 月・週・年(2)回 (第2土 ・ 第4土) 曜日 午前・ ☒ 午後 1時00分 ~ 午前・ ☒ 午後 3時30分~			
利用者負担金 (1人1回あたり)	200 円			
参加対象者 (あてはまるものを全て□にチェック)	☐ () 歳以上高齢者 ☐ () 歳以上高齢者世帯 ☐ () 歳以上ひとり暮らし・昼間独居 ☒ 子育て中の親 ☒ 子ども(10)歳~(15)歳 ☒ その他 (希望する者)			
参加者予定数 (1回あたり平均)	参加者 15 名 ・ 協力者 5 名 計 20 名			

■申請する事業（活動）について

申請する事業の助成金区分 (申請する助成金コード)	ステップアップ助成金 スタート助成金	申請する事業の番号 (募集要項4.対象となる事業参照)	(8)
申請する事業（活動）の名称	気になる学び舎（子育てサロン及び生活困窮世帯の学習支援）		
これまでの取り組み		助成を受けることで新たに変わる点	
申請する事業（活動）の概要	実施予定日	毎月第2土曜日	更に毎月第4土曜日を開催する
	実施場所	茨城県総合福祉会館 研修室	変更なし
	目 的 (どのような趣旨で行うのか)	子育て中の親の情報交換の場となることを目的にサロンを実施	生活困窮世帯の子に学びの場を提供することで生きる力を養うことを目的とする
	内 容 (誰を対象に、何を行うのか具体的に)	・対象：子育て中の親 ・内容：しゃべり場（情報・意見交換の場）の提供	・対象：生活困窮世帯の子（小4～中3） ・内容：ボランティアティチャーによる学習指導、レクリエーションなど
申請する事業の特色 ※助成を受ける上での取り組みの工夫や工夫の工夫	生活課題への対応 (地域でのどのような生活課題に対応する事業か)	子育て中の親を対象に意見交換の場となるサロンを実施することで育児ストレスの軽減を図る	生活困窮世帯の子に学びの場を提供することで、子ども自身に生きる力をつけさせ将来的な生活困窮の連鎖の解消を図る
	社会資源の活用 (地域の人材や建物等を活用しているか)	地元の公共施設を会場に地区婦人会とも連携することで、普段から身近に相談できる関係を築く。	地区でボランティアティチャーを募る。また、子どもが自ら通える公共施設を活用して開催する。
	継続性 (継続させるための工夫は何か)	運営側の独りよがりにならないよう、参加者との意見交換を大切にしている。	教科学習のみならず、レクリエーション的な要素も取り入れることで、継続的な参加を促すよう工夫する。
	先進性 (他のサロンにない特徴は何か)	参加する親にも運営側の一部の役割を担うよう協力を依頼しながら取り組んでいる。	市社協を通じてフードバンクから食材支援を受け、おやつに係る経費削減を図り、生活困窮世帯でも通わせられる場づくり。
	財源の確保 (財源の確保どのように努めているか)	参加者負担金と市社協からの助成金で運営している。	生活困窮世帯を参加対象とすることから参加者負担を抑えつつ、フードバンクからの食材等の支援により対応を図る。
	その他 (東日本大震災の被災者支援又は生活困窮者への支援の取り組みなど)	東日本大震災により地区内に避難してきている母子・父子も参加対象としている。	東日本大震災により地区内に避難してきている生活困窮世帯の子も学習支援の対象とする。

※団体の活動概要や、実施しようとする事業の資料・写真があれば添付してください。

(別紙1-2)

【団体名： 千波子育てサロン 】

収支予算書

1 収入内訳書

(単位：円)

費 目	金 額
はんどちゃんネットワーク運動サロン拡充支援事業助成金	50, 000
参加者負担金 (@200×15人×24回)	72, 000
市社協サロン助成金	10, 000
繰越金	800
収 入 合 計	132, 800

2 支出内訳書

費 目	金 額
旅費 (フードバンクとの往復 @500×8回)	4, 000
消耗品費 (@900×24回)	21, 600
印刷製本費 (広報チラシ作製 @200×2, 000枚)	40, 000
通信運搬費 (切手代 @80×20通×12回)	19, 200
賃借料 (会場費 @2, 000×24回)	48, 000
支 出 合 計	132, 800

(様式第2号)

茨社協第 号
平成 年 月 日

団体名 様

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
会長 関 正夫 (印)

はんどちゃんネットワーク運動サロン拡充支援事業助成金交付決定通知書

貴団体より申請のありました標記助成金について、下記のとおり交付決定いたしましたので通知します。

記

- 1 助成金交付決定額 金 円
- 2 助成対象事業及びその内容は、申請書記載のとおりとします。
- 3 助成事業実績報告書を事業完了後速やかに提出してください。

(様式第3号)

平成 年 月 日

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
会長 関 正夫 様

申請者 団体名
所在地(住所)
代表者氏名 ⑩
連絡先電話 () ー

はんどちゃんネットワーク運動サロン拡充支援事業助成金事業実績報告書

標記の助成金について、関係書類を添えて報告します。

記

1 助成金精算額 円

2 添付資料

- ・事業実績報告書(別紙3-1)
- ・収支決算書(別紙3-2)

(別紙3-1)

事業実績報告書

団 体 名	
事 業 名	
具体的な活動内容 (いつ、どこで、誰 に、何を行ったか)	
活 動 の 効 果 (事業実施した結 果、どういう状況 になったか。助成 を受けたことで変 わった事項を中心 に具体的に記載)	

※参考資料(写真やチラシ、事業が掲載された新聞記事等)があれば添付してください。

(別紙3-2)

収支決算書

1 収入内訳書

(単位：円)

費 目	金 額
はんどちゃんネットワーク運動サロン拡充支援事業助成金	
参加者負担金	
収 入 合 計	

2 支出内訳書

費 目	金 額
支 出 合 計	

この収支決算書は、事実と相違ありません。

平成 年 月 日

(団体名)

(代表者氏名)

印

(様式第4号)

茨社協第 号
平成 年 月 日

団体名

様

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
会長 関 正夫 ⑨

はんどちゃんネットワーク運動サロン拡充支援事業助成金確定通知書

貴団体より実績報告のありました標記助成金について、下記のとおり額を確定いたしましたので通知します。

記

1	助成金交付決定額	金	円
2	助成金概算払い額	金	円
3	助 成 金 確 定 額	金	円
4	差 引 給 付 額	金	円